《標準型》

工事成績採点の考査項目別チェック表 (主任監督員)

2. 施工状況	Ⅱ工程管理	評 定	□а	□b	■ C	□ d	□ е
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		対象項目					
		該当項目					
	評価: 点						
	(O 項目)						
	Ⅲ 安全対策	評 定	□ a	□b	■ C	□ d	□ е
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		対象項目					
		該当項目					
	評価: 点						
	(〇項目)						
4. 工事特性	Ⅰ 施工条件等への対応						
		対象項目					
	キーワード評価	該当項目					
		【工事特性のキ	<u>.</u> ーワード詳細】				
	評価: 点						
	(+20~0点) (O項目)						
 6. 社会性等			□а	□ a'	□ Ь	□ b'	■ C
	Ⅰ 地域への貢献等	評定	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
		対象項目					
		該当項目					
		【地域への貢献	L 等の実施状況】				
	評価: 点						
	(+10~0点) (O項目)						
 8. 法令遵守等	(0 织白)	_	0.74//77777				
		•	9 該当項目なし				
			9 該当項目あり				
		【その他の場合	の理由】				
	評価: 点						
				======================================	定点 点	(加減点計	点)
				工事成績評定点(検査依頼	=)		
				法令遵	点 等它		
契約番号		工事名		法令 遵 ————————————————————————————————————	点 等守		

別紙 2-2-②

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(主任監督員)

考査項目	細別	а	b	С	d	е
2 施工状況	Ⅱ 工程管理	□ 優れている	□ やや優れている	■ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
		□ 2 地元及び関係機関との調整に □ 3 工程管理を適切に行ったこと □ 4 工程管理に係る積極的な取り □ 5 災害復旧工事など特に工期的 □ 6 工事施工箇所が広範囲に点在		を完成させた。 地域住民に公共工事に対する好印象を与えた 工事を完成させた。 行い、余裕をもって工事を完成させた。	<u>-</u> - °	
	O点					

別紙 2-2-③

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

735 NOV 2 2 @			_ 3 // loc sit sit sit si			(工江皿已入/
考査項目	細別	а	b	С	d	е
2 施工状況	Ⅲ 安全対策	□ 優れている	□ やや優れている	■ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	O.5	□ 2 安全衛生を確保するための管	に取り組んだ。	んだ。		
	O 点	□ e 劣っている				

別紙 2-4-① (1/3)

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別		対応事項
4 工事特性	I 施工条件等への対応 ************************************	Ⅰ 構造物の特性への対応 1 構造物の特性への対応	○ 1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 □ ① 切土 20万m3 < V・盛土 15万m3 < V □ ⑧ トンネル(開削工法) 20m < H □ ⑭ 流路工 500m3 < Q □ ② 護岸・築堤高 10m < H □ ⑨ トンネル(NATM) 内空断面積 100m2 < A □ ⑯ 砂防ダム 15m < H □ ③ トンネル(ツール・) 8m < φ □ ⑩ トンネル(沈埋工法) 300m2 < A □ ⑯ ダム高 150m < H □ ④ ダム用水門 < 設計水深 25m □ ⑪ 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m < H □ ⑪ 転添トンネル 400m3/s < Q □ ⑤ 樋門・樋管 15m2 < A □ ⑫ 地滑り防止工 100m < W かつ 150m < L □ ⑱ 橋梁下部工 高さ 30m < H □ ⑥ 揚排水機場 2,000mm < φ □ ⑬ 浚渫工 100万m3 < V □ ⑲ 橋梁上部工 最大支間長 100m < L □ ⑦ 堰、水門 最大径間長25m以上又は、径間数3径間以上又は50m2/門
		の加点とする	○ 2 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 □ ① 砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 □ ② 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 □ ③ 供用中の道路トンネルの拡幅工事。
		O点	〇 3 その他(①, ②を選択した場合は理由を記入) □ ① その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 理由(□ ② その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 理由(□ ③ 地山強度が低い又は度土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		型 社会条件等。 ・ 1つ以上レ印	 ○ 4 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 □ ① 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 □ ② 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 □ ③ 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。
		作業環境、	○ 5 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 □ ① ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 □ ② 地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 □ ③ そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制約を受けた工事。
		点とする	〇 6 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 □ ① 市街地での夜間工事。 □ ② D I D地区での工事。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別		対 応 事 項
4 工事特性	I 施工条件等への対応	※ 1つ以上レ印	 ○ 7現道上での交通規制に大きく影響する工事 □ ① 日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 □ ② 供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 □ ③ 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。
		への対応 が付けば6点の加	○ 8 緊急時に対応が特に必要な工事□ ① 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。○ 9 施工箇所が広範囲にわたる工事
		点とする 点	 □ ① 作業現場が広範囲に分伏している工事。 ○ 1○ その他(②を選択した場合は理由を記入) □ ① 施エヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約が受けた工事。 □ ② その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。 理由(
		無 厳しい自然・	○ 11 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 □ ① 河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 □ ② 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 □ ③ 施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。
		世盤条件への は 4点の加	 ○ 12 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 □ ① 海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 □ ② 潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。
		の対応	○ 13 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 □ ① 急峻な地形なため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 □ ② 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 □ ③ 土石流危険渓流に指定された区域内における工事。
			○ 14 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事
		O点	○ 15 その他(①, ②を選択した場合は理由を記入) □ ① その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 理由() □ ② その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 理由()

別紙 2-4-①(3/3)

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考査項目	細別	対応事項				
4 工事特性		 ▼ ※ ※但し、文書注意に至らない事故を除く。 ※但し、文書注意に至らない事故を除く。 ※但し、文書注意に至らない事故を除く。 ② ○ ○)			
	評 価	【工事特性のキーワードの詳細】 評点: 〇点				

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 担当監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、担当監督員等の意見も参考に評価する。

別紙 2-6-①(1/2

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別	а	a'	b	b'	С				
6 社会性等	Ι 地域への貢献等	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	■ 他の評価に該当しない				
	(ボランティア活動、 担い手確保・育成 等)	〇 1 工事が地域の環境に及ぼす影	影響に配慮した。(但し、「設計	・ 計上したもの」、「 効果が確認でき	・ をないもの」、「担い手確保・育成	に繋がるもの」を除く)				
		□ ① 水質汚濁防止に配慮 □ ② 騒音振動防止に配慮	□ ④ 粉塵防止対策に配慮 □ ⑤ 特定外来生物の駆除(□ ⑦ 重機への軽油代替燃料の使用 □ ⑧ その他 (実施内容を下段に記入)				
		□ ③ 交通安全対策に配慮	□ ⑥ 希少野生生物の保護(実施内容()				
		〇 2掲示板を作成し、地域の情報	暇を通行人に見えるよう掲示した。	(但し、「設計計上したもの」、	「担い手確保・育成に繋がるもの」	を除く)				
		□ ① 地域イベントを紹介する □ ② 希少野生生物を紹介する		或特産品を紹介する掲示板の設置 D他(実施内容を下段に記入)						
		□ □ ② 布少野主主物を給川9で		がは(美胞内谷を下段に記入) 他内容()				
		○ 3 工事期間中に参加人数5名以上の現場見学会又は、視察対応を行った。又は、工事情報誌(工事通知を除く)を2回以上作成し地域に配布した。 (但し、「設計計上したもの」、「園児、児童、生徒、学生を対象にしたもの」、「担い手確保・育成に繋がるもの」を除く)								
			□ ① 地域住民を対象として参加人数5名以上の現場見学会開催 □ ③ 工事情報紙を2回以上作成し配布(HPによる公開も可)							
		│ □ ② 官公庁職員を対象としま	C 祝祭刘帅	□ ④ その他 (実施内容を下野 実施内容 ()				
		○ 4 実質工期中月30分以上、地 (但し、「設計計上したもの	域の公共施設の清掃を1回当り3.)」、「個人の施設」、「担い手確							
			青掃 □ ⑤ 学校、学校施設							
		□ ② 水路、河川、河川施設の□ ③ 公園、公園施設の清掃								
		□ ④ 海岸、海岸施設の清掃	実施内容()				
		○ 5 地域の祭りや活動に参加又は (但し、「設計計上したもの		が出るもの」、「担い手確保・育成	に繋がるもの」を除く)					
		□ ① クリーン作戦に参加 □ ② 交通安全に関する活動に	□ ③ 資源回収に参加 □ ④ 地域の祭りの過		⑤ その他 (実施内容を下段に記入) 実施内容 ()				

別紙 2-6-①(2/2)

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別	а	a'	b	b'	С				
6 社会性等	Ι 地域への貢献等	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	■ 他の評価に該当しない				
	(ボランティア活動、 担い手確保・育成 等)	○ 6 災害時などにおいて、地域/	成に繋がるもの」を除く)							
		_ 0 /10 0 0	□ ① 災害時等の応急復旧に協力 □ ④ 火災現場での協力							
		□ ② 災害時等の救護活動に□ ③ 交通事故現場での協力		容を下段に記入)		,				
		□◎父廸争以坑场(の励力								
		○ 7担い手確保・育成に繋がる	取組みを行った。(「担い手確保・	・ 育成に繋がる取組み一覧表」に該当	当する項目)					
		(但し、①を除き、設計計上し	したものは除く)							
		□ ① 4週8休の実施		現場見学会でアンケートの実施 及び 集	計 □ ⑪ 模型やパネルを展示	示した見学所の設置				
		□ ② 35歳以下の配置		インターンシップの受け入れ		要性を紹介するデザイン看板の掲示				
		□ ③ 意見交換会の開催		快適トイレの設置		要性を紹介するパンフレットの配布				
		□ ④ 現場見学会の開催 □ ⑤ 現場見学会で科学実験		女性専用休憩室の設置 現場見学通路や椅子の設置	□ ⑭ その他(実施内容を) 実施内容(ト段に記入)				
		□ ◎ 坑场兄子云(科子关款	文は、創作体験で表記 日 世	坑场尤于旭站 2何于少故道						
		〇 8 その他								
		□ ① その他 (実施内容を下段	设に記入)							
		実施内容()				
		【地域への貢献等の実施状況】								
	O点									

- ※1. 社会性等は、最大10点の加点評価とする。
- ※2. 評価にあたっては、担当監督員等の意見も参考に評価する。
- ※3. 「地域」の想定範囲は、当該現場から概ね半径1km以内を標準とする。

考查項目

8 法令遵守等

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

法令遵守等の該当項目一覧表

(主任監督員)

措置点数

-20点

-15点

-3点

ОĖ

減点

 O 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
 -13点

 O 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満
 -10点

 O 5. 文書注意
 -8点

 O 6. 口頭注意
 -5点

▼ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合

○ 8. その他:

9. 該当項目なし措置点数

- ① 本評価項目(8.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。
- ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。
- ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。
- ④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。

【上記で評価する場合の適応事例】

- 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。
- 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。
- 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。
- 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。
- 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。
- 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。
- 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。
- 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。
- 10. 下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
- 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。
- 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。
- 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員や ガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- 14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。
- 15. 受注者が社会保険等未加入建設業者の下請負人と契約を締結した。(措置内容については、指名停止等の区分による。)

〇点